

11月9日(土)

発行 市 川 市 議 会
編集 議 会 運 営 委 員 会
市川市八幡 1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/
cou01/1541000002.html

9月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日に年4回の定例会号、1月1日に新年号を発行(新聞折り込み)しています。

いちかわ

市議会だより

9月定例会

霊園設置管理条例の一部改正案を可決

平成24年度決算を認定



市川市霊園の芝生墓地 (右上囲み) 新規区画造成中の霊園緑地広場

市議会は、平成25年9月定例会を9月6日から10月4日まで開催しました。

9月定例会では、市長から、市川市霊園の設置及び管理に関する条例の一部改正の他、防犯灯設置費等補助金、老人福祉施設整備費補助金、住宅用省エネルギー設備設置費補助金など約6億8792万円を補正する平成25年度市川市一般会計補正予算(第2号)、指定管理者の指定についてなどの議案16件と報告10件が提出され、議員からは、補助金の適正交付に関する決議案、「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書案などの発議19件が提出されました。その他、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての諮問、請願の審議、33人の議員による一般質問を行いました。

決算審査特別委員会

委員長	石崎ひでゆき
副委員長	中山 幸紀
委員	高坂 進
中村 義雄	清水みな子
秋本のり子	大場 諭二
田中幸太郎	稲葉 健一郎
宮田かつみ	寒川 一

◆**主な議案**

○市川市霊園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
市民の多様な墓地需要を踏まえ、小区画の芝生墓地を設置することに伴い、新たに一般墓地の種別を定めるとともに、一般墓地のより適正な管理を行うため、その使用に関する意思の確認について、定めるためのものです。

【主な質疑】
「一般墓地の使用に関する意思の確認を規定する理由は、墓地のより適正な管理を行うためとのことだが、墓地を管理する上で何か問題があったのか。」との質疑に対し、「墓地は永代使用とされており、使用者が亡くなってから次の使用者が決まる機会が多いため、使用者が健在のうちに将来の墓地使用について考える機会がなかった。また、少子化、核家族化により、墓地に対する意識も、先祖代々の墓を守っていくという意識から、家族単位の墓へと変化してきている。今回の条例改正は、無縁墓地化を抑止するため、市から墓地使用者に対して、将来の墓地使用について考える機会を投げかけるためのものである。」との答弁がなされました。

○平成25年度市川市一般会計補正予算(第2号)
一般会計補正予算案は、防犯灯設置費等補助金、老人福祉施設整備費補助金、住宅用省エネルギー設備設置費補助金、道路改良等工事費など6億8792万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ1278億2913万9千円とするものです。

○指定管理者の指定について
平成26年4月1日から市川市文化会館、市川市行徳公会堂、市川市芳澤ガーデンギャラリー及び市川市木内ギャラリーを管理する指定管理者を、公益財団法人市川市文化振興財団に指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により提案するものです。

◆**認定**

○平成24年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について
平成24年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算を監査委員の意見を付けて議会の認定を求めるものです。
決算審査特別委員会では、まず、本決算に対する監査委員の審査について、監査委員の出席を求めて質疑を行いました。また、決算書の審査に当たり、歳入では、収入未済額・不納欠損額の主なもの、歳出では不用額、流用・充用の主なものについて説明を求め、疑義をたたくことにより、議決どおりの執行であったか、また、どのような行政効果があったか等を中心に質疑を行いました。

◆**報告**

9月定例会では、専決処分承認を求める報告1件を承認しました。その他、健全化判断比率、資金不足比率、専決処分の報告6件など9件の報告がなされました。